

- ⑤ 歯ッスルフェア2014 開催
- ⑤ サルコマーセンターについて
- ⑤ 臨床工学部について



© Hirofumi Makino

バナナ丘 / 撮影: 横野博史 病院長 (沖縄県 石垣島)

「緩和支援医療科」設置から1年が経ちました

松岡 順治 診療科長

疾病に伴うつらい症状の緩和を支援

もし皆さんが病気になったとき、どのような生活が望ましいでしょうか。痛みが強くてつらいとき、呼吸が苦しくつらいとき、どのようにしてほしいですか?治療のために何年も入院していただきたいですか?—。医療は何のためにあるのでしょうか。人々を幸せにするためではありませんか?医学の進歩は様々な治療を可能にしましたが、私たちは常にその治療が患者さんと家族を幸せにするかどうかを自問する必要があります。

緩和支援医療科は様々な疾病に伴う全人的苦痛に対して、多くの専門職が連携し最適な治療を行います。苦痛をなくすことにより、自分らしい毎日を取り戻すことが目的です。病気には「治す」ことが難しいものもありますが、その病気を「癒す」ことは可能です。「癒す」ためにはつらい症状を緩和することが重要です。緩和支援医療科はその過程を支援します。皆様のご支援よろしくお願いします。



緩和支援医療科のスタッフ

歯ッスルフェア2014 開催

三浦 留美 医療技術部 歯科衛生士長

平成26年6月5日(木)、「歯ッスルフェア2014～ピカピカスマイルdeキラキラライフ～」を開催しました。市民の方に当院を知っていただき、歯科疾患の予防やより専門的な歯科知識を学んでいただくのが目的で、今年も多くの方々にご参加いただきました。

中でも歯科衛生士による体験ブラッシングは好評で、予約の30名分があっという間に埋まってしまうほど。今年度は缶バッジを製作し、職員間でも当イベントを周知しようと働きかけました。



▲オリジナルの缶バッジで職員がPR

◀歯科衛生士による体験ブラッシング

ONSAYA COFFEE オープン

2014年5月、Junko Fukutake Hall向かいの岡山大学附属図書館鹿田分館に「ONSAYA COFFEE鹿田キャンパス店」がオープンしました。コーヒーやフレッシュジュースなどドリンクのほか、サンドイッチ、ワッフルなどのフードメニューも充実しています。コーヒーのポットサービスもあり、会議や打ち合わせにもご活用いただけます。全商品テイクアウト可能。

営業時間 /
午前9時～午後9時
(土曜は～午後5時、日曜・祝日定休)
※8月の営業は午前9時～午後5時
(毎週土日・13～15日・28日休)
電話 / 086-225-0440





活躍する「専門看護師」

馬場 華奈己 精神看護専門看護師

専門看護師 (CNS : Certified Nurse Specialist) とは、看護系大学院修士課程を修了した後、日本看護協会の資格認定審査を受けた看護師です。当院には、「がん看護」「小児看護」「慢性疾患看護」「急性・重症患者看護」「精神看護」の5領域の専門看護師が活躍しています。各々の専門領域における看護実践や

看護コンサルテーション、倫理的問題に対する調整、機能的なケアシステムの構築と変革の推進のほか、医療チームへのサポートや教育などへ積極的に携わっていますので、組織のリソースとしてぜひご利用ください。



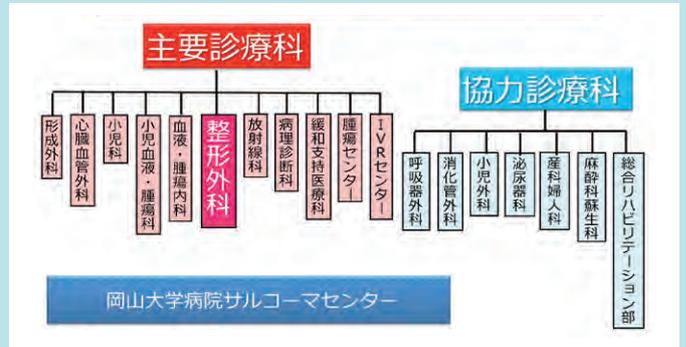
榎野博史病院長と岡山大学病院の専門看護師 (左から3人目が馬場さん)

ご存じですか?

尾崎 敏文 サルコーマセンター長

サルコーマセンターについて ~多くの科と連携し肉腫患者の診療~

四肢の筋肉や骨から発生する「肉腫(サルコーマ)」は、整形外科がイニシアティブをとって治療してきました。しかし、体幹、特に骨盤内発生例は消化器外科・泌尿器科・婦人科など多くの科に治療が分散する傾向にあります。手術だけでなく、抗がん剤や放射線の知識も必要となりますが、今までは肉腫診療を統括する部門がありませんでした。どこでどのような治療を受ければ良いかわからない、いわゆる「サルコーマ難民」が肉腫診療での問題となっています。サルコーマセンターは、診療科間の連携を強化して肉腫患者により良い治療を提供するため、今年4月に西日本で初めて設置されました。岡山大学病院で多くの科の様々なスタッフが、科を横断して密接に連携し、肉腫の診療(診断・手術・補助療法)にあたります。



ご存じですか?

岩月 啓氏 臨床工学部副センター長

臨床工学部について ~チーム医療への貢献~

平成25年10月に、従来のME機器センターのスタッフに加え、院内で勤務する臨床工学技士の皆さんの力を結集した「臨床工学部」が誕生しました。ME機器保守・点検はもとより、ベッドサイドでチーム医療に従事する質の高い集中治療を実践できる診療・教育態勢が整いつつあります。折しも、診療報酬改定により「特定集中治療室管理料2」が設けられ、

岡山大学病院は全国で初めて、この施設基準を満たす施設として認定を受けました。臨床工学部の皆さんにはご負担をおかけしますが、岡山大学病院として誇らしいことです。次の目標は、完全シフト制への無理のない移行です。名実ともに、日本一の臨床工学部を目指したいと思います。

リレーエッセイ Vol.001

前川 珠木 看護部長

病院長室 西堀良太郎さん — 病院機能評価受審で質改善に尽力

今年は病院機能評価受審を機に、当院の医療の質改善活動に改めて光を当てる年になりました。そこで、今回は受審体制の支え手である病院長室の西堀良太郎さんを紹介します。西堀さんは受審関連会議の日程調整、関係者への連絡、資料とりまとめなどの膨大な仕事を引き受けて下さっています。

楽しみは「フットサル」で、ご自身も岡山大学教職員有志によるチームに所属しているプレイヤーです。病院機能評価に向けても、フットサルで鍛えた体力と根性で我々“岡大チーム”を牽引してくれることでしょう。ちなみに鼻肩チームはイングランドのアーセナル・フットボールクラブだそうです。



西堀良太郎さん

患者さんへ届けたい医療安全の言葉

おかしいな? 感じたその時 **すぐ確認!!**

歯科医師 より